

本島健三氏叙勲式 堀井巖政務官挨拶

シラ大使，
ご列席の皆様，

本日は、ギニア政府による本島健三氏への叙勲伝達式にご招待いただき、日本政府を代表し、心から感謝いたします。本島氏がギニアの国土基本図作成に着手されたのは1977年にまで遡りますが、地図の完成後、35年以上を経てなお、本島氏の業績がギニア国民及びギニア政府から高く評価され、本日の叙勲に至ったことを嬉しく思います。

国の開発・復興にあたっての計画を立てるためには、まず、その国の「正確な形」を把握することが不可欠です。それを可能とするのが、まさしく本島氏が作成された「国土基本図」であり、その意味では、本島氏による事業は、独立後のギニア発展の礎となるものであったと言えるでしょう。

本島氏は40度を超える過酷な環境や、伝染病の脅威、また地元住民との緊張などの困難にもかかわらず、5年をかけてギニアの国土基本図を作り上げました。この文字通り命がけの偉業は、2003年にNHKの番組「プロジェクト X」でも紹介され、ギニアのみならず日本でも広く知られるようになりました。

本島氏による地図作成という一大事業以降、日・ギニ

ア間の友好関係は大きく発展してきました。特に今年は、2月の日・ギニア友好議員連盟の設立、4月のオスマン・サンコン氏に対する旭日双光章受賞に続き、6月には、本年の AU 議長であるアルファ・コンデ大統領による、ギニアの国家元首として初めての公式訪日の実現し、安倍総理との首脳会談が行われるなど、二国間関係はきわめて良好であり、大変喜ばしく思います。この日ギニア首脳会談の際に、コンデ大統領から、本島氏の貢献が紹介され、叙勲を検討すると述べられました。

我が国は、アフリカ開発会議(TICAD)を通じて、アフリカの持続的開発に積極的に関与していますが、ギニアでは保健・教育・水産分野などで様々な開発協力事業が行われています。コンデ大統領の訪日の際、安倍総理は、コナクリにおける国際協力機構(JICA)拠点の開設を表明し、現在、開設に向けた準備が進められています。JICA 拠点の開設によって、ギニアへの開発協力がますます活発化し、第二、第三の本島氏が現れ、日・ギニア協力関係が拡大していくことを期待いたします。

最後に、これら一連の開発協力のまさに草分けとなった本島氏の偉大な業績、そして本島氏をお支えになられたご家族、及び本島氏と共に地図事業に従事され、長年にわたりギニアと日本の友好・親善にご尽力されてきた全ての関係者の皆さまに心からの敬意を表します。我が国としても、ギニアの発展、及び日・ギニア関係の一層の拡大のため、引き続き尽力していく所存であることを申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。